

大館市都市計画 マスタープラン②

前号から掲載している都市計画マスタープラン。今回は、大館市の交通について、とりわけ道路網の今後進むべき指針をご紹介します。これをきっかけに、皆さんも大館市の交通体系について考えてみてはいかがでしょうか。

2 交通整備計画

現況

① 道路

▽国道7号、国道103号、国道285号及び県道大館十和田湖線（樹海ライン）が主要な一般道として整備されている。

▽東北縦貫自動車道とは、国道7号を介して碓ヶ関IC、国道103号を介して十和田IC、樹海ラインを介して小坂ICで接続している。

▽新たに骨格幹線道路となる日本海沿岸東北自動車道の一部として大館西道路が現在整備中である。

▽高規格道路へのアクセス道路として位置づけられる大館南バイパスが現在整備中である。

② 鉄道

▽奥羽本線により秋田・能代方面及び青森・弘前方面に連絡しており、鷹巣からは角館に至る秋田内陸縦貫鉄道が分岐している。また、花輪線により、盛岡方面

に連絡している。

今後の整備

に係る基本方針

① 広域幹線道路の整備推進

▽市内と広域都市間とのアクセスの確保を目指して、通過交通の排除、及び目的交通の喚起を促進する良好な交通体系の整備を推進。

▽市民生活及び産業の成立要件を基本とし、地理的条件や自然環境を理解しながら無理のない整備を推進。

② 市域内道路の充実

▽市域内移動における容易なアクセスを確保。また災害対策を目的として都市計画道路の事業化を推進。整備実現が困難と予想されるものは見直しを検討。

▽新たにできる施設への容易なアクセスを確保。産業振興への貢献を目的とする道路の整備を積極的に推進。

▽災害時における避難ルート、救援活動、火災の延焼を遮断する

空間としての機能を念頭に置き、その整備を推進。

③ 農道・林道の整備

▽産業活動の生産性向上に貢献すると同時に、一般道路を代替えとする形で市民生活に利便性、安全性を提供する農道・林道の整備を行う。

④ 人間本位の

交通環境づくりの推進

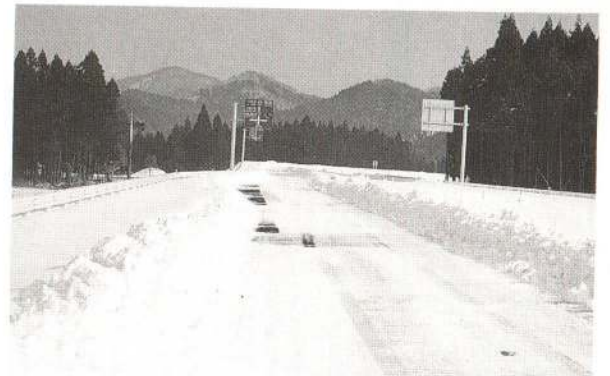
▽高齢者、障害者あるいは幼児なども含めた市民の皆さんが安心して移動できるような、人間性を重視した交通環境づくりを積極的に推進。

▽冬場における積雪・凍結といった状況を十分に認識し、融雪歩道などの建設を推進。

具体的施策

① 日本海沿岸東北自動車道の整備への働きかけ

▽都市間交流、産業振興の要となる日本海沿岸東北自動車道は、将来的に東北縦貫自動車道に接続し、東北地方あるいは全国とネットワークを形成することから、基本計画区間となっている大館西道路北IC以東については整備計画区間へ、また、予定路線区間となっている南IC以南については、整備の具体化を



積極的に働きかける。

▽予定路線区間となっている二ツ井～大館西道路南IC間について、平成10年開港予定の大館能代空港に直接接続できるルートの整備を働きかける。

② 大館西道路及び南バイパスの整備の促進

▽国道7号のバイパス機能を担うことを目的としながらも、将来、高規格幹線道路網である日本海沿岸東北自動車道の一部を構成する大館西道路の整備を促進。

▽日本海沿岸東北自動車道と東北縦貫自動車道との短絡路線である、国道103号のバイパスとしての機能を持つ道路として、大館南バイパスの整備を促進する。